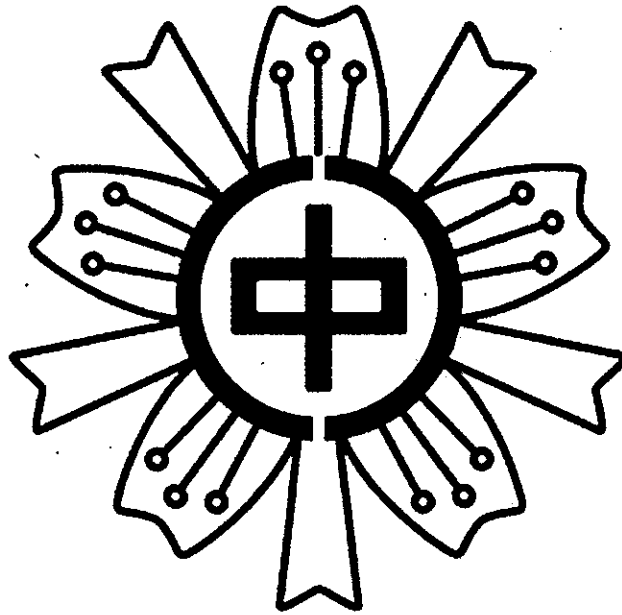


令和7年度

熊本県立八代中学校

3年生 シラバス



目 次

国語	1
社会	3
数学	6
理科	8
音楽	11
美術	13
保健体育	14
技術分野	16
家庭分野	18
英語	20

令和7年度 八代中学校シラバス

教 科	国語	科 目	国語	学 年	3	類 型	
単位数	3	教科書	東京書籍 新しい国語3				
副教材	増補版国語便覧熊本県版, 基礎の学習3, 常用漢字ダブルクリア, 中3徹底演習テキスト国語						

学習目標	・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し, 伝え合う力を高める。 ・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。 ・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達記録 A B C
1 学期	生命は レモン哀歌 生ましめんかな	・詩の意味や効果的な表現を捉え読み方を工夫して音読する。 ・効果的な言葉の使い方に注意して詩を読む。 ・詩に描かれた生と死について考え, 感想を持つ。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	世界への入り口	・随筆を読み, 言語や多様化する社会について考える。 ・表現の工夫に注意して, 筆者の考えを捉える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	和語, 漢語, 外来語 間違えやすい敬語 形	・和語, 漢語, 外来語の特徴について理解する。 ・間違えやすい敬語に注意し正しい敬語の使い方を理解する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	百科事典少女 評価しながら聞こう 連語, 慣用句 熟語の構成, 熟字訓 絶滅の意味	・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて, 作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現の仕方に注目し, 作品を評価する。 ・様々な観点で評価しながら聞き自分の考えや表現に生かす。 ・連語や慣用句について理解する。 ・熟語の構成や熟字訓について理解する。 ・論理の進め方に着目して, 筆者の主張を捉える。 ・人間社会と自然との関わりについて考え自分の意見を持つ。 ・文と文, 段落と段落などの関係を考え, 文章を論理的に読む。 ・体験と知識を, 表現の素材として生かす。 ・知識や体験をもとに, 構成を工夫し, 内容を膨らませて文章を書く。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	論理的に読む 素材を生かして表現する 編集して伝えよう	・書いた文章を読み返し, 推敲して誌面を仕上げる。 ・四字熟語の構成を理解し, さまざまな四字熟語を知る。 ・送り仮名について理解する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	「環境」の新聞 四字熟語 送り仮名		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	幸福について 観察, 分析して論じよう「ポスター」の批評文	・文章を読み比べて, 論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて, 文章の内容について自分の考えを持つ。 ・比較することを通して, 物事を深く理解する。 ・批評の対象について観察・分析したり, 比較したりして, 自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し, 資料を参考にしたり引用したりして, 説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し, ものの見方や考え方を深める。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	相手や目的に応じて説明する 場面に応じて話そう	・目的や相手に応じて必要な情報を判断し, 分かりやすく説明する。 ・体験や知識を整理し, 目的や相手, 時間を意識して, 話す内容や話し方を考える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	曖昧な文・分かりづらい文	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し, 言葉遣いの感覚を磨く。	☐ ☐ ☐
	送り仮名 初恋 万葉, 古今, 新古今	・送り仮名の付け方について理解する。 ・表現の特徴を捉え, リズムを感じ取りながら朗読する。 ・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら, 和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して, 鑑賞文をまとめる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学期	幸福について 観察, 分析して論じよう「ポスター」の批評文	・文章を読み比べて, 論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて, 文章の内容について自分の考えを持つ。 ・比較することを通して, 物事を深く理解する。 ・批評の対象について観察・分析したり, 比較したりして, 自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し, 資料を参考にしたり引用したりして, 説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し, ものの見方や考え方を深める。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	相手や目的に応じて説明する 場面に応じて話そう	・目的や相手に応じて必要な情報を判断し, 分かりやすく説明する。 ・体験や知識を整理し, 目的や相手, 時間を意識して, 話す内容や話し方を考える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	曖昧な文・分かりづらい文	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し, 言葉遣いの感覚を磨く。	☐ ☐ ☐
	送り仮名 初恋 万葉, 古今, 新古今	・送り仮名の付け方について理解する。 ・表現の特徴を捉え, リズムを感じ取りながら朗読する。 ・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら, 和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して, 鑑賞文をまとめる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	幸福について 観察, 分析して論じよう「ポスター」の批評文	・文章を読み比べて, 論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて, 文章の内容について自分の考えを持つ。 ・比較することを通して, 物事を深く理解する。 ・批評の対象について観察・分析したり, 比較したりして, 自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し, 資料を参考にしたり引用したりして, 説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し, ものの見方や考え方を深める。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	相手や目的に応じて説明する 場面に応じて話そう	・目的や相手に応じて必要な情報を判断し, 分かりやすく説明する。 ・体験や知識を整理し, 目的や相手, 時間を意識して, 話す内容や話し方を考える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	曖昧な文・分かりづらい文	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し, 言葉遣いの感覚を磨く。	☐ ☐ ☐
	送り仮名 初恋 万葉, 古今, 新古今	・送り仮名の付け方について理解する。 ・表現の特徴を捉え, リズムを感じ取りながら朗読する。 ・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら, 和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して, 鑑賞文をまとめる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	幸福について 観察, 分析して論じよう「ポスター」の批評文	・文章を読み比べて, 論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて, 文章の内容について自分の考えを持つ。 ・比較することを通して, 物事を深く理解する。 ・批評の対象について観察・分析したり, 比較したりして, 自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し, 資料を参考にしたり引用したりして, 説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し, ものの見方や考え方を深める。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	相手や目的に応じて説明する 場面に応じて話そう	・目的や相手に応じて必要な情報を判断し, 分かりやすく説明する。 ・体験や知識を整理し, 目的や相手, 時間を意識して, 話す内容や話し方を考える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	曖昧な文・分かりづらい文	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し, 言葉遣いの感覚を磨く。	☐ ☐ ☐
	送り仮名 初恋 万葉, 古今, 新古今	・送り仮名の付け方について理解する。 ・表現の特徴を捉え, リズムを感じ取りながら朗読する。 ・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら, 和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して, 鑑賞文をまとめる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

	おくのほそ道 論語 言葉の移り変わり 文法のまとめ 故郷	・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。 ・構成や表現の特徴とその効果について考える。 ・古人の言葉を読み味わう。 ・古人の言葉を引用し、自分の考えを書く。 ・言葉の変化について理解する。 ・文法的な性質の異なる語の見分け方を学び、文法の復習をする。 ・場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。 ・作品を読んで、社会の中で生きる人間について考え、自分の意見を持つ。 ・人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉える。 ・形や音の似た、紛らわしい漢字に注意する。 ・読んだ本を振り返り、これからの読書生活への展望を持つ。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	紛らわしい漢字 何のために「働く」のか		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	いつものように新聞が届いた 合意形成を目指す話し合い	・情報の意義とメディアの役割について考えを深める。 ・対立する意見について、合意の形成を目指して考えをまとめる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	話し合いで意見をまとめよう 今の思いをまとめよう 間違えやすい言葉 俳句の読み方、味わい方 俳句を作って句会を開こう	・話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫する。 ・問題の解決に向けて、お互いの考えを生かし合う。 ・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。 ・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書する。 ・読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意する。 ・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わう。 ・俳句のよさを評価してまとめる。 ・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	【授業の進め方やポイント】 ○教科書をよく読んで内容の理解に努める。○音読に積極的に取り組む。○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。○配られたプリントはフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。○感想や疑問をしっかりと出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。
	【家庭学習の進め方やポイント】 ○新しい単元の前に、新出漢字と語句の確認をする。（「基礎の学習3」の利用、辞書の活用）○授業の後には授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。（「基礎の学習3」の活用）○出された課題や宿題は必ずする。○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を続ける。○習った漢字や語句は何度も練習し、定着させる。○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章（新聞等）を読み、分からない言葉や漢字は調べる習慣を身につける。辞書を進んで活用する。

評価方法	知識・技能 (33%)	思考・判断・表現 (34%)	主体的に学習に取り組む態度 (33%)
	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識して言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
	定期テスト、小テスト、課題の提出内容(ICT活用技能等)	定期テスト、課題の提出内容	小テスト、課題の提出状況

令和7年度 八代中学校シラバス

教 科	社会	科 目	社会	学 年	3	類 型	
単位数	4	教科書	新しい社会 歴史（東京書籍） 新しい社会 公民（東京書籍）				
副教材	歴史資料集（新学社） 新しい公民（浜島書店） 社会の自主学习歴史2・3（新学社） 社会の自主学习公民（新学社）						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度評価 A B C
1 学 期	【歴史的分野】 第7章 二度の世界大戦と日本	・ 第一次世界大戦の背景や戦いの様子、大戦後の世界の動きについて関連づけながら理解する。	☐ ☐ ☐
	1 第一次世界大戦と民族独立の動き	・ 大正時代の特色について、政治・社会・文化を関連づけながら理解する。	☐ ☐ ☐
	2 大正デモクラシー	・ 第二次世界大戦を引き起こした要因について、世界恐慌による世界経済の悪化と各国の社会の混乱、それにもなう政治体制の変化を関連づけながら理解する。	☐ ☐ ☐
	3 恐慌から戦争へ	・ 第二次世界大戦のあらましについて、日本と世界の動きを関連づけながら理解する。	☐ ☐ ☐
	4 第二次世界大戦と日本の敗戦	・ 世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解する。	☐ ☐ ☐
	第8章 現代の日本と世界	・ 1960～70年代の世界と日本の動きについてとらえ、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解する。	☐ ☐ ☐
	1 日本の民主化と冷戦	・ 冷戦終結後の世界や日本の動きと関連づけながら、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことや、環境、人権、平和などをめぐる様々な課題が残されていることを理解する。	☐ ☐ ☐
	2 世界の多極化と日本	・ 現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などがあることを理解する。	☐ ☐ ☐
	3 冷戦の終結とこれからの日本	・ 日本と世界との結びつきが強まる中で、情報化の進展が果たしている役割を理解し、自分たちが情報を伝え合うことや、世界とつながることの意味を考察する。	☐ ☐ ☐
	【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち	・ 日本の科学技術の発展と、社会の変化や自分たちの暮らしとの関わりについて理解する。	☐ ☐ ☐
	1 現代社会の特色と私たち		
	2 私たちの生活と文化		

2 学 期	【公民的分野】		
	第1章 私たちの暮らしと現代社会	・人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためには、きまりや取り決めが必要であることを理解する。	☐ ☐ ☐
	3 現代社会の見方や考え方	・立憲主義の憲法が「人権の保障」と「権力の分立」の二つの内容で構成されていることや、「法の構成」図の内容を正しく理解する。	☐ ☐ ☐
	第2章 個人の尊重と日本国憲法	・人間の尊重についての考え方、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。	☐ ☐ ☐
	1 人権と日本国憲法	・人間尊重の考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義と法に基づく政治の大切さについて理解する。	☐ ☐ ☐
	2 人権と共生社会	・国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや、内閣については、日本が議員内閣制を採用していることについて理解する。	☐ ☐ ☐
	3 これからの人権保障	・法に基づく公正な裁判によって国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されていることを理解する。	☐ ☐ ☐
	第3章 現代の民主政治と社会	・地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解する。	☐ ☐ ☐
	1 現代の民主政治	・経済活動の意義が人間の生活の向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないことを理解する。	☐ ☐ ☐
	2 国の政治の仕組み	・生産は企業を中心に行われていること、金融には家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活資金などとして円滑に循環させるはたらきがあることを理解する。	☐ ☐ ☐
3 学 期	3 地方自治と私たち	・経済の成長と安定の意味や経済の安定のために国や中央銀行が行っている経済政策について理解する。	☐ ☐ ☐
	第4章 私たちの暮らしと経済		
	1 消費生活と市場社会	・個人の生活や産業の発展に伴う公害など環境汚染や自然破壊の問題について理解する。	☐ ☐ ☐
	2 生産と労働	・環境を保全し、積極的に人間環境の改善を図るようにすることの重要性を理解する。	☐ ☐ ☐
	3 市場経済の仕組みと金融	・国際政治は、国際協調の観点にもとづいて国家間の対立の克服を試みるものであることを理解する。	☐ ☐ ☐
	4 財政と国民の福祉	・すべての国家の主権が相互に尊重されなければならないことを理解する。	☐ ☐ ☐
	第4章 私たちの暮らしと経済	・グローバル化が進む国際社会の中で、国家間の格差が進み、「人間の安全保障」という考え方が広がってきた現状をとらえ、国際的な協力関係の必要性が強まってきていることを理解する。	☐ ☐ ☐
	5 これからの経済と社会		
	第5章 地球社会と私たち		
	1 国際社会の仕組み		
	2 さまざまな国際問題		
	3 これからの地球社会と日本		

		・世代間の公平，地域間の公平，環境の保全と回復，公正で平和な社会などが持続可能な社会形成への基礎となることを理解する。 ・これまでの学習内容を元に，持続可能な社会の実現に向けた取り組みを考案する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
終章	より良い社会を目指して		

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業は基本的事項を押さえながら自分で図や表にまとめる。スライドを作成して発表する。単元毎にまとめの活動や小テストを実施する。副教材の問題集を使用して予習，復習を行う。		
評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。年表や歴史，地図など様々な資料を収集し，必要な情報を適切に選択し活用することができる。	教科書の記述やグラフ，図など様々な資料を適切に収集・活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに，適切に表現することができる。	学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話を熱心に聞いたりすることができる。
	定期テスト 小テスト	定期テスト 授業時の課題	授業時の課題 課題の提出

	第4章 図形と計量 1 三角比 2 三角形への応用	○2次不等式を問題解決に利用することができるようにする。 ○図形の計量の基本的な性質について理解し、考え方の有用性を認識し、具体的に考察できる。 ○三角形と計量に関心を持ちその良さがわかるとともに、具体的な事象に活用できる。 ○三角比の考え方をを用いて、図形の計量を行う過程を考察することができる。 ○具体的な事象の数量の関係を、三角比などを用いて表現し、計量ができる。 ○三角比や正弦・余弦定理の意味について理解し、基本的な知識を身につける。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	第5章 データの分析	○統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。 ○身近な統計の代表値について定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○範囲の定義やその意味を理解し、データの散らばりを比較することができる。 ○分散や標準偏差、相関係数の定義とその意味を理解し、それらを求めることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートの余白部分に書きます。復習として問題集を使用して計画的に日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。		
評価方法	知能・技能 (3観点の割合は同じ)	思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)	主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)
	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理したりする技能を身に付けている。	以下の力を身に付ける。 ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養おうとしている。
	定期テスト、小テスト、単元テスト	定期テスト、小テスト、単元テスト	提出物、授業態度、発表、ペア・グループ活動状況

教 科	理科	科 目	理科	学 年	3	類 型	
単位数	4	教科書	未来へひろがるサイエンス 3（啓林館）				
副教材	理科 W プリント評価と確認（新学社）ハイクラス徹底問題集中 3 理科（文理） 新中学問題集（教育出版）						

学習目標	科学に対する認識を高め、自ら探究的に調べようとする基礎を身に付ける。 自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物、現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学期	【単元4】 運動とエネルギー 単元導入、学ぶ前にトライ！ 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 力だめし、学んだ後にリトライ！ エネルギーをみんなにそしてクリーンに	1 実験を通して、力がつり合うときの条件や力の合成と分解についてその規則性を理解する。 2 力がはたらかない運動では物体は等速直線運動をし、力がはたらく運動では物体の速さが変わることを実験結果のグラフから分析することができる。 3 物体のもつエネルギーの量は、物体が他の物体になしうる仕事で測れることを理解する。 4 実験を通して、運動エネルギーと位置エネルギーが相互に移り変わり、力学的エネルギーの総量が保存されることを理解する。 5 仕事の概念を身につけ、エネルギーの移り変わりと保存について実感し、日常生活や社会と関連付けた運動とエネルギーの見方や考え方ができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	【単元1】 生命の連続性 単元導入、学ぶ前にトライ！ 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	1 体細胞分裂の観察を通して、その過程を確かめ、細胞の分裂を生物の成長と関連付けてとらえる。 2 無性生殖と有性生殖の動物や植物について、それぞれの特徴を理解する。 3 遺伝子交配実験の結果に基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見だし、遺伝現象について理解するとともに、生命の連続性について認識を深める。さらに分離の法則を理解する。 4 遺伝子やDNAの研究結果が、日常生活や社会にかかわる様々な分野で利用されるようになってきていることについて、文献やコンピュータ、ネットワークなどを活用して、理解を深める。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 学 期	【単元3】 単元導入，学ぶ前にトライ！ 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩 力だめし，学んだ後にリトライ！ 化学電池と未来	1 水溶液の電気分解についての観察，実験を行い，実験技能を習得するとともに，レポートを作成することで，観察・実験の結果を分析して解釈し，わかりやすく表現することができる。 2 化学変化についての観察，実験を通して，水溶液の電気伝導性や酸性やアルカリ性の特徴，中和反応，化学電池のしくみなどについて理解し，これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けて考え，説明できる。	□ □ □ □ □ □
	【単元2】 宇宙の中の地球 単元導入，学ぶ前にトライ！ 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方 力だめし，学んだ後にリトライ！ 大きさをこえてさぐる太陽系の歴史 学習のまとめ	1 身近な天体の観察を通して，地球の運動について考察し，太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解するとともに，太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。 2 天体の日周運動の観察を行い，その観察記録を地球の自転と関連付けて説明できる。 3 星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い，その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けてとらえ，天体の位置関係や運動について相対的に理解する。	□ □ □ □ □ □ □ □ □
3 学 期	【単元5】 単元導入，学ぶ前にトライ！ 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして 力だめし，学んだ後にリトライ！ かけがえのない地球とともに	1 身近な自然環境について調べ，様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解し，自然環境を保全することの重要性を認識する。 2 自然と人間のかかわり方について認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考えることができる。 3 エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し，持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。 4 科学技術の発展の過程を知るとともに，科学技術が人間の生活を豊かで便利にしてきたことを認識する。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業は観察，実験を中心に進めていきます。板書を写すだけでなく，ワークシートに自分の考えや人の考えなどを書き留めてください。授業終了後，副教材の問題集を使ってしっかり復習しましょう。		
評価方法	知能・技能 (3観点の割合は同じ)	思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)	主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)
	教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができる。正しく実験器具を使用することができる。学習した内容の基礎的，基本的事項を身に付けている。	教科書の記述やグラフ，図など様々な資料を適切に収集，活用して事象を多面的，多角的に考察し，公正に判断するとともに，適切に表現することができる。	学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり，他人の意見に耳を傾けたりしている。提出物を忘れずに提出することができる。
	定期テスト 単元テスト 授業時の課題	定期テスト 単元テスト 授業時の課題	授業中の態度 課題の提出，取組状況

教 科	音楽	科 目	音楽	学 年	3	類 型	
単位数	1	教科書	中学生の音楽 2・3 下 中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
------	--

○歌唱 ◇器楽 ◎鑑賞 ●創作

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学期	詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう ○「花」 ヴァイオリンを弾いてみよう ◇◎「きらきら星」 ギターを弾いてみよう ◇◎「カントリーロード」他	・歌詞の情景を思い浮かべながら歌詞を朗読する。 ・曲想を感じ取り、どのように歌うか表現意図を持つ。 ・楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付ける。 ・楽器の響きを味わって、音色を生かした表現方法の工夫 ・楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付ける。 ・楽器の響きを味わって、音色を生かした表現方法の工夫。 ・派生音の音名（英・日・伊語）とコードネーム。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学期	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ○「校歌」 ○「合唱コンクール自由曲」 曲のよさをプレゼンテーションしよう ◎バレエ音楽「ボレロ」 ◎ブルタバ（モルダウ） ルールを守って音楽を楽しもう	・八代中生としての自覚と誇りを持ち、歴史と伝統に触れながら、校歌「道」の合唱を仲間と作り上げる。 ・パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と工夫して表情豊かに合唱する。 ・音楽の特徴を、文化、歴史や他の芸術とのかかわりや曲想などから理解する。 ・曲全体を通して繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・音色や強弱の変化に注目して聴く。 ・曲想と音楽の特徴と関わりに注意しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・作品に込められた思いを感じ取って聴く。 ・音楽を楽しむためのルール（著作権）の理解。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学期	Let's Create! ●リズムアンサンブル 卒業式に向けて ○卒業式の歌	・構成を生かしたリズムアンサンブルの創作。 ・曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域(「歌唱」,「器楽」,「創作」の三分野),鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず,文化というもののまで学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間にしてください。		
評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け,歌唱,器楽,創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり,音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽,音楽文化に親しむことができるよう,音楽活動を楽しみながら主体的,協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	実技テスト 定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	提出物 授業態度 発表 ペア・グループ活動状況

教 科	美術	科 目	美術	学 年	3	類 型	
単位数	1	教科書	美術 2・3（光村図書）				
副教材	美術資料						

学習目標	○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。 ○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度評価 A B C
1 学 期	日本の世界文化遺産	・世界遺産について関心を持つ。	☐ ☐ ☐
	私との対話	・自分の姿を見つめて考えたことをもとに、今の自分の気持ちや将来の夢を表すなど、表現の構想を練る。	☐ ☐ ☐
	ゲルニカ、明日への願い	・表現方法を工夫して、今の自分を表す。	☐ ☐ ☐
2 学 期	架け橋プロジェクト	・ゲルニカを鑑賞し、作品が作られた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。	☐ ☐ ☐
		・文章や情報を読み解き、対話する力を身に付ける。	☐ ☐ ☐
		・科学的に思考、吟味する力を身につける。	☐ ☐ ☐
3 学 期	椅子のデザイン	・インフラストラクチャーについて関心を持つ。	☐ ☐ ☐
		・表現方法を創意工夫し、見通しを持って創造的にあらわしている。	☐ ☐ ☐
		・美的感覚を働かせて、表現の構想を練っている。	☐ ☐ ☐
	文化を受けつぎ、作る	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。	☐ ☐ ☐
		・美術や美術作品と時代や社会との関わりに着目しながら鑑賞する。	☐ ☐ ☐
			☐ ☐ ☐

学習方法	○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。 ○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。		
評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 ・材料や道具を適切に使用することができる。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
	定期考査 確認テスト 作品 ワークシート 授業中の様子	定期考査 確認テスト 作品 ワークシート 授業中の様子	作品 ワークシート 授業中の様子

令和7年度 八代中学校シラバス

教 科	保健体育	科 目	保健体育	学 年	3	類 型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成評価		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち自己の体力に応じた課題をもって運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。	☐	☐	☐
	陸上競技 (短距離・リレー・幅跳び)	・クラウチングスタートからのスムーズな加速走や、タイミングを合わせたバトンパスでリレーを楽しむことができる。記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わいながら、基本的な動きを身に付ける。	☐	☐	☐
	保健	・健康を保持増進し、疾病を予防するための適切な対処について理解することができる。	☐	☐	☐
	水泳(クロール・平泳ぎ)	・足のけりを中心として進み、十分な伸びをとりながら長い距離を泳ぐことができる。	☐	☐	☐
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	☐	☐	☐
2 学 期	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、ダンスができる。	☐	☐	☐
	選択球技(ベースボール型)	・基本的なボール操作を身に付け、ゲームを楽しむ。	☐	☐	☐
	器械運動と陸上競技の選択	・回転系や巧技系の基本的な技をなめらかにできるようになり、仲間と一緒に技を組み合わせて集団演技を発表する。 ・記録の向上や競争の楽しさを味わいながら競技会を楽しむ。	☐	☐	☐
	保健	・感染症の原因や感染経路、感染予防の3つの対策について理解することができる。	☐	☐	☐
3 学 期	長距離走	・自己の能力に応じて、長い距離をより速く走ることができる。	☐	☐	☐
	球技(ネット型)	・基本的なボール操作を身に付け、ゲームを楽しむ。	☐	☐	☐
	保健 体育理論	・健康になる方法と病気の防ぎ方や行動を学ぶ。 ・スポーツが文化として世界中に広まり、生活の中で重要な役割を果たしていることを理解する。	☐	☐	☐

※A:十分に満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する

学習方法	★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待つ。 ★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がける。 ★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加する。 ★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れる。また、運動、スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高める。 ★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨む。
------	---

評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	選択した運動の技の名称や 行い方、体力の高め方、運動 観察の方法、スポーツを行う 際の健康・安全の確保の仕方 についての具体的な方法及 び文化としてのスポーツの 意義についての考え方を理 解しているとともに、選択し た領域の運動の特性に応じ た基本的な技能を身に付け ている。	生涯にわたって運動を豊かに 実践するための自己や仲間の 課題を発見し、合理的な解決に 向けて、課題に応じた運動の取 組み方や目的に応じた運動 の組み合わせ方を工夫してい るとともに、自己や仲間の考え たことを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わう ことができるよう、公正、協力、 責任、参画、共生などに対する 意欲をもち、健康、安全を確保 して、学習に自主的に取り組も うとしている。
	① 活動状況観察 ② 学習シート・レポート	① 活動状況観察 ② 学習シート・レポート	① 活動状況観察 ② 学習シート

教 科	技術・家庭	科 目	技術	学 年	3	類 型	
単位数	1	教科書	新編新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート（新学社）						

学習目標	ものづくりなどの実践的、体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的、基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境との関わりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
------	---

[illegible]

3 学 期	第2章 制作品の設計・制作 ①エネルギー変換を利用した制作品を作ろう	3 製作品を組立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。	□ □ □
	第3章 エネルギー変換に関する技術の評価・活用 ①エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう	4 エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	□ □ □

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	技術ノートで要点をおさえながら授業を行います。実習では、はんだごてを使って作品の製作に取り組みます。		
評価方法	知能・技能 (3観点の割合は同じ)	思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)	主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)
	エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みについての知識を身に付け、エネルギー変換に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。機器の保守点検と事故防止ができる。	よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用している。	よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。
	定期テスト 授業時の課題 レポート	定期テスト 授業時の課題 レポート	授業中の様子 課題の提出、取組状況

令和7年度 八代中学校シラバス

教 科	技術・家庭	科 目	家庭	学 年	3	類 型	
単位数	1	教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート 家庭分野						

学習目標	衣食住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成評価 A B C
1 学 期	5編 私たちの成長と 家族・地域 1章 家族・家庭と地域 2章 幼児の生活と家族 3章 これからの私と家族 ○幼児のおもちゃを手作り してみよう	- 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解する。 - 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。 - 幼児の遊び道具の製作活動を通して、幼児の遊びの意義について理解する。 - これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族や高齢者など、地域の人々とより良くかわり、協働する方法を考える。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	4編 私たちの消費生活と 環境 1章 私たちの消費生活 2章 責任ある消費者になる ために ○幼稚園訪問	- 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。 - 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。 - 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。 - 幼児と触れ合う活動を通して、幼児への関心を高め、関わり方を工夫できる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	2学期中間考査後から技術分野を学習します。		

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善、充実に努めるようにしましょう。 各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。 実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全に、かつ協力して進めましょう。
------	--

評価方法	知能・技能 (3観点の割合は同じ)	思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)	主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)
	家族、家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族、家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	定期考査 作品、レポート ワークシート、ノート 授業時の課題	定期考査 作品、レポート ワークシート、ノート 授業時の課題	授業中の様子 作品、レポート ワークシート、ノート

教 科	外国語	科 目	英語	学 年	3	類 型	
単位数	4	教科書	NEW HORIZON English Course3				
副教材	中学必修テキスト中学3年英語, 中学実力練成αスタンダード英語3年, トーク・アンド・トーク Book3, 速読英単語入門編, Listening Navigator 1						

学習目標	・はっきりと話されれば, 社会的な話題について, 短い説明の要点をとらえることができる。 ・社会的な話題について, 簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合ったり, 話したり, 書いたりすることができる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成記録 A B C
1 学 期	・ Unit 0 Discover a New Side of Classmates ・ Unit 1 What is special about Japanese pop culture? ・ Real Life English 1 ・ Unit 2 How do you choose your clothes? ・ Real Life English 2 ・ Unit 3 How can we save animals? ・ Real Life English 3 ・ Stage Activity 1 ・ Let's Read 1 A Mother's Lullaby	・ 2年生までの学習事項の復習 ・ 現在完了形の経験用法(肯定文, 疑問文, 否定文)の習得。 ・ 現在完了形の完了用法と継続用法(肯定文, 疑問文, 否定文)の習得。 ・ 第4文型(that節), 第5文型(C=形容詞) ・ ディスカッションを聞き, 自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。 ・ 現在完了進行形 ・ 社会的な話題に関する講演を聴き, 話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ・ 人や環境にやさしいファッションの取り組みについて説明することができる。 ・ 絶滅のおそれのある動物について知り, 大切なことや取るべき行動について伝えることができる。 ・ It is ... (for + (人など)) + to~ ・ want + (人など) + to~ ・ let/help + (人など) + 動詞の原形 ・ 資料から読み取った情報について, 事実と意見を分けて書くことができる。 ・ 日本や郷土の文化などについて, 詳しい情報を加えて説明することができる。 ・ 既習事項の総復習 ・ 物語を読んで, 場面の変化や登場人物の心情などを理解し, 気持ちをこめて音読することができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	・ Unit 4 How can we help each other in a disaster? ・ Real Life English 4 ・ Unit 5 What makes a good leader? ・ Real Life English 5	・ 間接疑問文とSV00(what節)の文の習得。 ・ 現在分詞, 過去分詞の文の習得。 ・ 防災・安全への意識を高め, 地域の一員として取るべき行動を考えて伝えることができる。 ・ 相手の立場に立って, 具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ・ ガンディーの功績を知り, 平和や人権の意味について考えることができる。 ・ 名詞を修飾する文と関係代名詞 who, that, which(主格・目的格)の習得。 ・ 社会的な話題について, 理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。I (do not) think ~. I have two reasons. など	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

	・ Stage Activity 2	・ これまでの経験を振り返って活動報告を発表することができる。	☐ ☐ ☐
3 学 期	・ Unit 6 What does it mean to be a global citizen?	・ 国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや想いを伝えることができる。	☐ ☐ ☐
		・ 仮定法(I wish I could(had)・・・), (If+主語+were・・・, ～.)	☐ ☐ ☐
	・ Real Life English 6	・ ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。	☐ ☐ ☐
	・ Stage Activity 3	・ 主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。	☐ ☐ ☐
	・ Let's Read 2 Power Your Future ・ Let's Read 3 Coloring Outside the Lines	・ 説明文や伝記を読み概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。	☐ ☐ ☐

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて単元ごとに技能を高めます。復習として(中学必修テキスト、中学実力練成αスタンダード等を用いて)既習事項の徹底を図ります。また、小テストを実施してスモールステップを実践します。
------	--

	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
評価方法	外国語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる能力を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	定期テスト、小テスト 授業時の課題	定期テスト、小テスト パフォーマンステスト 授業時の課題、発表	パフォーマンステスト 授業時の課題、発表 授業中の様子、課題の提出状況